



TITLE:

# 地球の歳差運動：プラネタリウムの 解説から

AUTHOR(S):

T

---

CITATION:

T. 地球の歳差運動：プラネタリウムの解説から. 天界 1938, 18(204):  
184-185

ISSUE DATE:

1938-03-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167643>

RIGHT:

## 地球の歳差運動

プラネタリウムの解説から

地球が自轉すると云ふことは今日誰れしも疑を入れない事實です。然しこの地球の自轉する地軸が地球ぐるみ微妙な變動をしてゐます。……恰も獨樂のや

うに、……この現象の最も大きく動搖するものを“地球の歳差運動”と呼んでゐます。これは地軸が黄道面に約23度半傾いたまゝ地球が大きなカブリを振るので、このため天の北極(同時に南極)は大きな圓を描いて移動し、従つて天の赤道が移動し、春分點や秋分點が東から西へ移動します。こうして一通りの變動をして“極”が元へ戻るのに約25800年を要します。

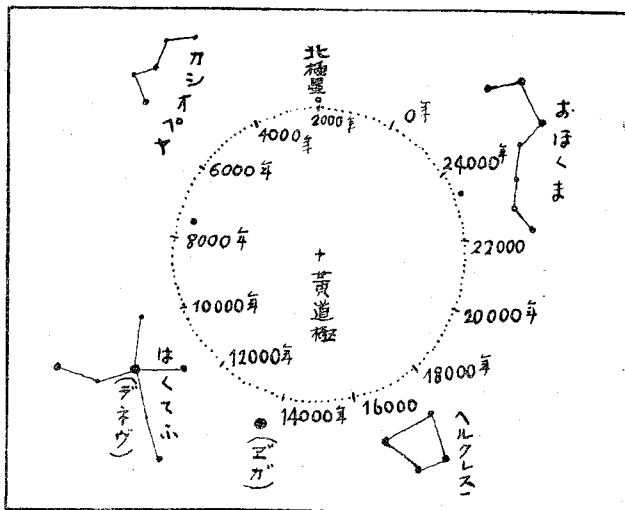
この驚くべき歳差を起す原因は地球が正しい球形でなくて回轉橢圓體であるため、太陽や月の引力が不平等に働く結果であります。

こうした歳差現象のため、事實現在の北極星は4000年前には天の北極より25度角も離れてゐました。又今後8000年後には白鳥星座の主星(デネヴ星)が北極星となり、更に4000年後には琴星座の主星(織女星即ちエガ星)が北極を示す星となります。

地球が歳差運動することによつて我々に“時代”の觀念を齎らし、プラネタリウムは約一分間にこの26000年の大變動を演じ、超世紀の宇宙美を展開し、我々をして宇宙人の聖壇に登場せしめます。

× ×

地球の歳差運動のやうな理解し難い現象も、



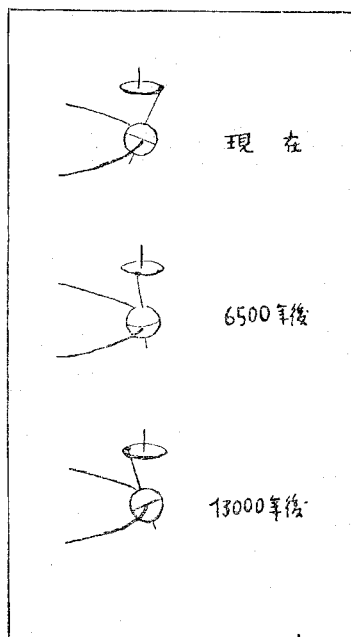
地球の歳差のために北極が天空に描く大圓

プラネタリウムは僅か數分間に如實に現出して見せることの出来るのは、全くこの機械の獨特の藝當です。

あらゆる天體現象を映出運轉して見せるプラネタリウムは、題目を12ヶ月に割當て、大約1ヶ年で、天文知識を一通り修得させます。こうして定められた演出話題は下記の通りです。

### プラネタリウムの12ヶ月豫定話題

- 1月 冬の星座の美觀，星雲の話
- 2月 地球の歳差運動説明，黄道光の話
- 3月 暦の話，星の色と壽命
- 4月 春の星座を語る，遊星の運動
- 5月 時の話，日食・月食の説明
- 6月 北極の空，黄道十二宮
- 7月 七夕の空，銀河の話
- 8月 月，月の運動
- 9月 季節の説明，太陽黑點
- 10月 ローマンス豊かな秋の星座，變光星
- 11月 流星と彗星，重星・連星
- 12月 南國の空を語る，木星と土星



地球の自轉軸の變動

(大阪市立電氣科學館天文部，T生)

新年の御祝詞申上げます

祖國眞の非常時を遙かに偲びつゝも、吾等同胞の幸福を心から感謝し、一層の協力奮闘を誓はざるを得ません

2598 年 元 旦

南米にて 勝 浦 茂 雄